

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙の『安全上のご注意』と『使用上のご注意』をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

主な特長

- JB-2 は、JHS PEDALS と BOSS が共同開発したディストーション・ペダルです。
- JHS PEDALS と BOSS それぞれの設計による、完全に独立した 2 系統の歪みを搭載しています。
 - モードの切り替えにより、JHS PEDALS、BOSS のサウンドを個別に使えるほか、直列（接続順選択可能）／並列に組み合わせて使うことで、多彩なロック・サウンドを生み出すことができます。
 - REMOTE 端子にフットスイッチを接続すると、ペダル・スイッチとの組み合わせで歪みの切り替えやオン／オフの選択肢をさらに増やすことができます。

各部の名称とはたらき

DC IN 端子

AC アダプター（PSA-100：別売）を接続する端子です。AC アダプターを使用すると電池切れの心配がなく、長時間の演奏ができます。

※ AC アダプターを使用するときでも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。

※ AC アダプターは、必ず指定のもの（PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。

※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

LEVEL つまみ

エフェクト音の音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

TONE つまみ

エフェクト音の音質を調節します。右に回すと高音域が強調され、左に回すと高音域がカットされます。

OUTPUT 端子

アンプや他のエフェクターに接続する出力端子です。

ギター・アンプ

ペダル・スイッチ

エフェクト・オン／オフや 2 系統の歪みの切り替えをするスイッチです。

※ モードによって、ペダルを踏んだときの動作が異なります。詳しくは、「操作早見表」をご覧ください。

サムスクリュー

このサムスクリューをゆるめるとペダルが開き、電池を交換できます。

※ 交換方法については「電池交換のしかた」をご覧ください。

CHECK インジケーター

エフェクト・オン／オフの表示と、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケーターです。エフェクト・オン時に点灯して、エフェクト・オン／オフの確認ができます。また、JHS PEDALS と BOSS のどちらのエフェクトが効いているかを表示します。

インジケーターの色	エフェクトの種類
赤	JHS PEDALS
青	BOSS
紫	JHS PEDALS、BOSS の両方

※ エフェクト・オン時にインジケーターが暗くなったり点灯しなくなったりしたときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。

MODE つまみ

モード（JHS、BOSS、JHS/BOSS、J ▶B、B ▶J、PARALLEL）を切り替えるスイッチです。

詳しくは「モード一覧」をご覧ください。

DRIVE つまみ

ディストーションのかかり具合を調節します。右に回すほど歪みが多くなり、強烈なディストーション・サウンドが得られます。左に回すと歪みが小さくなり、軽いディストーション・サウンドが得られます。

INPUT 端子

エレキ・ギター、その他の電気、電子楽器やエフェクターの出力を接続する入力端子です。

※ INPUT 端子は、電源スイッチも兼ねています。接続プラグを INPUT 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。JB-2 を使用しないときは、INPUT 端子に接続しているプラグを抜いてください。

エレКТリック・ギター

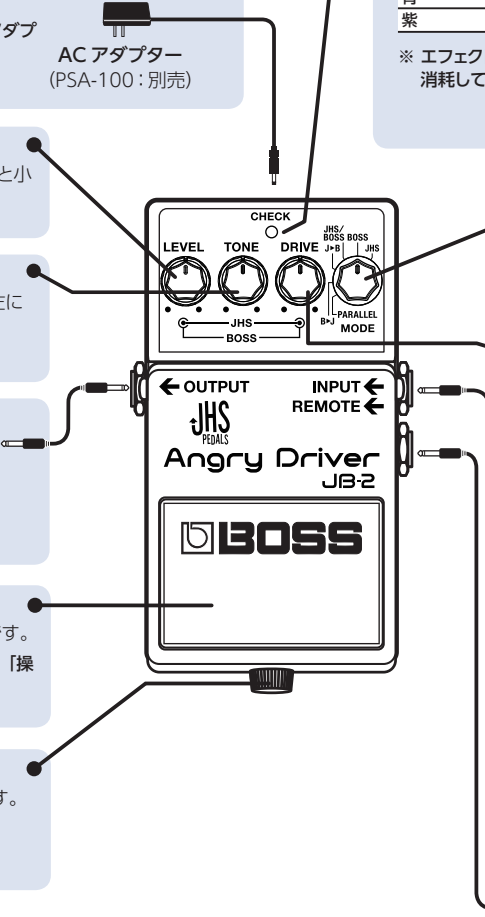
REMOTE 端子

ラッチ・タイプのフットスイッチ（別売:FS-5L、FS-6、FS-7）を接続します。

※ FS-6、FS-7 の場合は、ラッチ・モードのみ使用できます。

フットスイッチの操作で、2 系統の歪みを切り替えたり個別にオン／オフしたりすることができます。詳しくは「操作早見表」をご覧ください。

FS-6L



使用上のご注意

- 設定によっては本機が発振したり、ノイズが増えたりする場合がありますが、故障ではありません。
- 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損したりする恐れがあります。

電源を入れるとき： アンプなどの電源を最後に入れてください。

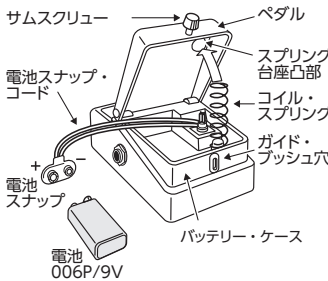
電源を切るとき： アンプなどの電源を最初に切ってください。
- 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- 電池で使用する場合は、アルカリまたはマンガン電池を使用してください。
- 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとインジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。別紙の『安全上のご注意』と『使用上のご注意』に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

電池交換のしかた

1. ペダル・スイッチを押さえながらサムスクリューをゆるめて、ペダルを上を開きます。

※ サムスクリューは完全に取りはずすことなく、ペダルを開けられます。
2. バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずします。
3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

※ 電池の極性（+／-）を間違えないようにご注意ください。
4. コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じます。
- ※ ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。
5. サムスクリューをガイド・ブッシュ穴に入れ、確実に締めてください。



モード一覧

MODE つまみで、好みのエフェクトを選びます。

MODE	説明
JHS	JHS PEDALS の「Angry Charie」をベースに設計したハイゲイン・ディストーションです。豊かな低音と分厚いミッド・レンジが特徴のサウンドです。
BOSS	BOSS の Blues Driver「BD-2」をベースに設計したオーバードライブです。ギターのボリュームやピッキングの強弱による表現の幅広さが特徴。ゲインの変化幅が大きく、クランチからハード・ロックまで幅広い音づくりができます。
JHS/BOSS	「JHS」と「BOSS」のエフェクトを切り替えます。
J ▶B（*1）	「JHS」→「BOSS」の順番で直列接続します。
B ▶J（*1）	「BOSS」→「JHS」の順番で直列接続します。
PARALLEL（*1）	「JHS」と「BOSS」回路を並列で接続します。

（*1） JHS PEDALS と BOSS の両方がオンになります。

操作早見表

各モードでの、ペダル・スイッチと REMOTE 端子に接続したフットスイッチのはたらきは次のとおりです。

MODE	ペダル・スイッチ	フットスイッチ（REMOTE）
JHS	エフェクト ON/OFF	JHS/BOSS 切り替え
BOSS	エフェクト ON/OFF	JHS ON/OFF
JHS/BOSS	JHS/BOSS 切り替え	エフェクト ON/OFF
J ▶B	エフェクト ON/OFF	JHS ON/OFF
B ▶J	エフェクト ON/OFF	BOSS ON/OFF
PARALLEL		

主な仕様

規定入力レベル	-20dBu
入力インピーダンス	1M Ω
規定出力レベル	-20dBu
出力インピーダンス	1k Ω
推奨負荷インピーダンス	10k Ω以上
電源	アルカリ電池（9V 形）、またはマンガン電池（9V 形） AC アダプター（別売）
消費電流	55mA ※ 連続使用時の電池の寿命（使用状態によって異なります） アルカリ電池：約 7 時間 マンガン電池：約 2.5 時間
外形寸法	73（幅）× 129（奥行）× 59（高さ）mm
質量	445g（乾電池含む）
付属品	保証書 チラシ（安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口） アルカリ電池（9V 形）；本体に接続済み
別売品	AC アダプター：PSA-100 フットスイッチ：FS-5L、FS-6、FS-7 ※ FS-6、FS-7 は、ラッチ・モードのみ使用できます。

※ 0dBu=0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

知的財産権について

- ・ Roland、BOSS、BLUES DRIVER は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

© 2017 Roland Corporation

ローランド株式会社
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

02